

# KURASHIKI CENTRAL HOSPITAL



この冊子は、倉敷中央病院をご理解いただくとともに、皆さま方とのコミュニケーションをはかるためのものです。皆さまと当院を結ぶかけはしとなるように、「Kニュース」と名付けました。

**倉敷中央病院** ■患者本位の医療・全人医療・高度先進医療■

## 院内散歩



## ● 児島虎次郎が集めた西洋名画の複製 ●

大原美術館の絵画を蒐集した児島虎次郎は、同時期に開院が予定されていた倉敷中央病院のために、多数の西洋名画の複製を買ってきました。その選択、配置場所の決定はもちろんのこと、児島自身が釘を打って額を掛けたといわれています。

現在、院内の数箇所に飾っていますが、外来棟2階ホールから2-15受け付け（外科等）に行く通路に、その数点を並べ、ミニギャラリーとしています。

慈愛あふれる聖母子像、ヴィオラらしき楽器を奏でる天使の清らかな眼差し、海を見渡すバルコニー（？）にたたずむ女性の静謐さ、オランダの人文学者・神学者・哲学者のエラスムスの知性。

虎次郎が何を考えてそれらの絵を買ったのかを考えながらみると、ふっと、90年の時を越えて、彼の声が聞こえてきそうな気がします。

その他の場所に飾られた名画たちも探してみてください。

## CONTENTS

院内散歩  
児島虎次郎が集めた西洋名画の複製 3

ヘルシーリビング  
消化器内科  
部長 石田 悦嗣 4  
痔臓がんのはなし

トピックス  
わが街健康プロジェクト。って何？ 6

QQ車  
山陽新聞社会事業団の「松岡良明賞」に  
当院が選出、表彰されました 10

初期研修医のマッチング試験で  
実技を実施しました

# 膵臓がんのはなし

消化器内科

部長 石田 悦嗣

膵臓がんはどのような症状ですか？

まず膵臓について説明します。膵臓は胃の後ろにあり、十二指腸に囲まれている細長い臓器です。食物の消化を助ける膵液や、インスリンなど血糖値をコントロールするホルモンを作る役割があります。膵臓にできるがんのほとんどが、膵液を運ぶ膵管にできます。

膵臓がんの症状です



良く聞いた上で、選択するべきと考えます。

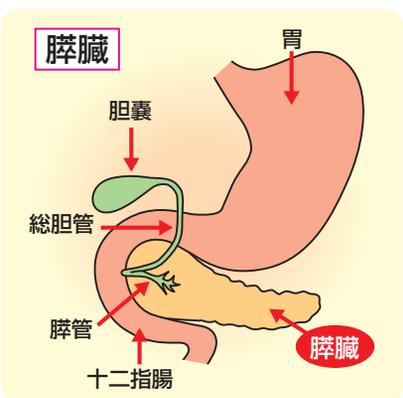
膵臓がんの治療方法は？

手術ができる状況かどうかを判断します。肝臓や肺など膵臓以外の臓器への転移や、血管を含めて切除不可能な周辺臓器へ浸潤していなければ、手術を検討します。ただ、膵臓がんは早期の診断が難しく、切除不能な場合は抗がん剤を中心とした治療となります。

抗がん剤治療はどのような内容ですか？

抗がん剤治療には複数の選択肢があります。65歳未満で体力があれば、4種類の抗がん剤を組み合わせたFOLFIRINOX療法が選択肢に挙げられます。ただし、

が、初期段階では自覚症状が出にくいことです。お腹や背中が痛いことや食欲不振は、他の疾患でもみられることです。比較的関連がある症状としては、膵頭部にがんができて、胆管が詰まった際に体が黄色くなる黄疸が挙げられます。



極度の食欲不振や脱毛など、副作用が強いです。65歳以上や体力がなければ、ほかの抗がん剤の組合せを考えます。効果や副作用について説明し、患者さんと一緒に治療方針を決定します。患者さんの状態によっては、放射線治療の併用も検討します。

膵臓がんのリスク因子は何が挙げられますか？

「これを予防すれば大丈夫」というものはありませんが、慢性膵炎や糖尿病に罹患していたり、喫煙したりするとリスクが高まると言われています。慢性膵炎ですが、アルコールを多量に摂取すると、アルコールを分解するため膵臓や肝臓が働き、細胞が傷んで発症しやすくなりますので過度のアル

診断はどのように行いますか？

膵臓がんが疑われる場合、腹部の超音波検査やCT検査など必要な画像検査を行った上で、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）かEUS/FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引法）で詳しく調べます。ERCPは内視鏡内に通したカテーテルを胆管や膵管に入れます。造影剤を注入して異常を調べ、必要に応じて組織を採取します。EUS/FNAは胃や十二指腸から内視鏡の先端についている超音波の機械で膵臓を観察し、腫瘍がある場合は針を刺して組織を採取します。どちらも侵襲的な検査なので、合併症がおきる可能性があります。状態や検査の特性を

コール摂取は控えるべきです。喫煙者は非喫煙者と比べて発症率が約2〜3倍と言われています。

早期発見のためには？

膵臓がんは早期の診断が難しく、膵臓周囲だけではなく離れた部位へも転移をしやすいです。「難治がん」の代表例で、患者数と死亡者数がほぼ同じです。

必要な検査をしなければいけないので、「いつも病院にかかっているから大丈夫」という話ではありません。早期発見につながるためには、人間ドックなどで定期的な検査を受けることが大切です。最低でも腹部エコーは受け、余裕があればMRI検査も行ってください。

# わが街健康プロジェクト。って何？

超高齢化社会の到来により、救急患者の増加、医療者の不足、疲弊による適切な医療の提供が困難になる事態が予想されています。これは私たちの身近に迫る問題です。医療の機能分化の仕組み

を知ることで、かかりつけ医を持つ、健康診断を受ける、生活習慣病に気をつける、など普段の生活からできるこ

とがあります。「わが街健康プロジェクト。」(わがプロ)はこうした課題に対して、地域住民と医療従事者がともに心通わせ、ずっと安心に暮らせる街をつくることを目指しています。2013年11月に、倉敷中央病院を含め倉敷市内を中心とした13医療機関の共催でスタートしました。3年目を迎える今、共催医療機関は17施設に増えました。これまで9回の講演会開催で参加者は延べ1671人を数え、地域医療を支える輪がどんどん広がってきています。「救急はいつ誰が行っても受診

できるのが当たり前じゃないんですか?」「一度入院すれば、完治するまでその病院じゃないんですか?」「わがプロって何ですか?」。興味を持たれた方、地域医療を学び、考え、広めることで安心して暮らせる街づくりに参加してみませんか。

## 共催病院・後援

※50音順で掲載しています  
あずま会倉敷病院 倉敷記念病院 倉敷市立児島市民病院 倉敷スイートホスピタル 倉敷成人病センター 倉敷第一病院 倉敷中央病院 倉敷平成病院 倉敷リハビリテーション病院 倉敷リバーサイド病院 児島中央病院 重井医学研究所附属病院 しげい病院 玉島中央病院 チクバ外科・胃腸科・肛門科病院 松田病院 水島中央病院 倉敷市 倉敷商工会議所 倉敷市保健所



## 二本立ての講演会

わがプロは「医療機関と上手に付き合う」「病気の予防と健康維持」「倉敷(以外の方は自分の街)



をもっと好きになる」をテーマに掲げています。内容は、健康と地域医療連携に関する講演の二本立てです。これまで地域医療連携に

関しては医療の機能分化や訪問看護、緩和ケアなどをテーマに、健康に関しては認知症や骨粗鬆症、高血圧などについて、共催病院の医師や医療従事者が講演をしていますが、会場からの質問時間も設けていますので、気になった内容は気軽に質問ができます。



## ランクアップ制度

参加回数等に応じたランクアップ制度を設けています。「学ぶ」「考える」「広める」のステップごと

にグッズも用意しています。プラチナサポーターを目指し、安心して暮らせる街づくりを一緒に考えましょう!



ブロンズグッズ「保険証ケース」

### ブロンズ

講演会参加3回

### ゴールド

講演会へ参加通算6回  
ミーティング参加2回

### プラチナ

ミーティング通算4回  
十わが友ポイント30ポイント獲得で達成

学ぶ

考える

広める

# わが街健康プロジェクト。

次回第10回講演会は **参加無料**  
**2016年2月9日(火) 14:00～**  
**倉敷市民会館 大会議室2F**

講演① 「倉敷版の地域包括ケアシステム構築に向けて」

倉敷市 保健福祉局参与 健康福祉部長 吉田 昌司 先生

講演② 「医療機関と上手に付き合う」

倉敷中央病院 地域医療連携室 宮脇 理美 先生

## 健やかブース

13:00～13:50

- ◆骨密度や血糖値などの測定
- ◆日頃の健康や介護などでの悩みを相談できます
- ◆身体を楽しく動かす脳トレコーナーやリハビリ体操もあります

申込みですが、各共催病院の窓口へ申し込み用紙を持参、もしくはわが街健康プロジェクト。事務局（倉敷中央病院地域医療連携室…TEL 086-422-5218）へご連絡ください。

次回第10回講演会は2016年2月9日の開催です。12月ごろより共催病院や公民館などにチラシを準備します。興味を持たれた方の来場を、お待ちしております。



## 健やかブース

講演会開始前には、ご自身の健康管理の目安となる骨密度や血糖値などの測定や日頃の健康面などが相談できる「健やかブース」があります。

「ブースの測定で気になるデータが出た」「栄養について、普段は聞けるきっかけがない」「など健康や栄養、お薬、介護などの疑問や



お困りごとを相談できます。運営は全てわがプロの共催病院の医療スタッフが担当しており、気軽に楽しくコミュニケーションが取れる場となっていますので、ぜひご利用ください。身体を楽しく動かす脳トレやリハビリ体操もあります。

## サポーターズミーティング

「私の考えを色んな人に聞いて



ほしい」。わがプロでは年に2回、考えて話し合うサポーターズミーティングを開いています。地域医療に関するミニレクチャーの後、小グループに分かれてテーマについてそれぞれが意見を出し合うほか、クイズにも挑戦します。人前で話すのが苦手と話していた方も、帰る前には「楽しかったの、また参加したい」と笑顔で帰られています。





## 初期研修医のマッチング試験で 実技を実施しました



7月19日、東京ビッグサイトにおいて、全国の医学部の4・5・6年生を対象とした実技試験のトライアウトを実施しました。

医学生向け医療系就職活動イベント「レジナビ」に合わせて実施したもので、関東エリアのみならず、遠くは北海道、沖縄県からも参加がありました。

当日は次の3つの課題（制限時間各15分）が提示されました。

- ◆15mm平方の折り紙を用いて極小の折り鶴を何羽つくれるか
- ◆13の部分に分けた約35mm前後のタマムシを、もとの形に組み立て直せるか
- ◆約5mm程度のひと粒の米の上に極小の刺身を乗せた寿司を何貫つくれるか

会場では、この課題を「面白い」と捉えて参加を申し込んでくれた学生たちが、この一風変わった課題に、前向きに、真摯に取り組んでいました。出来上がった作品について当院医師と参加学生とで意見交換する場では、学生のひたむきさや実直な性格、自己を振り返り評価する姿など、今まで見えにくかった部分を明らかにできた手ごたえが感じられました。

8月2日・16日に開催されたマッチング試験では、3つの課題のうち折鶴が実技試験に採用され、完成物の



の細かな採点には行わず、面接の際に各自の作品作りの工夫を述べてもらうかたちで実施しました。

## 山陽新聞社会事業団の「松岡良明賞」に 当院が選出、表彰されました



がん撲滅に功績のあった団体、個人をたたえる山陽新聞社会事業団の「松岡良明賞」に、このたび当院が選出されました。団体の病院としての受賞は

初めて。贈呈式が9月7日、岡山市の山陽新聞社本ビルであり、当院の小笠原敬三院長と当法人の相田俊夫副理事長が出席し、表彰状を受け取りました。

「松岡良明賞」は山陽新聞社の元社長、故松岡良明氏の遺族から寄託された基金により創設され、今年で20回目。岡山県健康づくり財団が審査し、山陽新聞社会事業団が決定、がん征圧月間（9月）に表彰しています。

選定理由は、年間の入院がん患者延べ約11万7千人、約1700件のがん手術は中四国トップクラスで地域住民に信頼される治療実績がある▽総合保健管理センターの健診で年間約3万8千人に対応し、がんの早期発見にも努めている▽がん関連の専門・認定看護師を配置しているほか、患者や家族を支える相談支援センターを設置している—などが挙げられました。

贈呈式には山陽新聞社の松田正己代表取締役社長らが出席。表彰状を受け取った小笠原院長は「患者さんを第一に、一人ひとりの患者さんを大切に、最新の医学を導入して最高の医療を提供できるように努めてまいりました。このたびは栄えある賞を受賞し、これを励みにさらに研鑽を重ねていきたい」とあいさつしました。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

## 倉敷中央病院

〒710-8602 岡山県倉敷市美和1丁目1番1号  
TEL.(086)422-0210代 FAX.(086)421-3424  
<http://www.kchnet.or.jp>